

### 立ち遅れている 子ども医療費助成は 近隣市町村の動向および 財政見通しを踏まえ検討

日本共産党  
武田 猛見議員

**問** 子ども等の医療費助成は、一定の前進はありましたが、まだ立ち遅れています。拡充の考えについて伺います。

①窓口負担の半額による単独助成額は、

②所得制限の対象になつていない人数は、

③所得制限をなくした場合の助成額と新たな拡充の考えは、

**答** ①3ヶ月間で152万円となりました。

②対象人数は、判定所得額が500万円未満で218人、それ以上が50人で計268人です。

③現時点では、就学前の乳幼児全体では、1300万円の増額

となります。

拡充では、近隣市町村の動向と財政見通しを踏まえ検討します。

**問題の多い改定  
介護保険への対応は**

**問** 改定された介護保険法は、さまざまな問題を抱えています。

①総合事業の内容と問題点は、

②24時間地域巡回型訪問サービスの問題は、

③保険料が改定されるが、その試算は、

**答** ①予防給付と介護予防事業を地域支援事業の予算で行うものですが直ちに言うという想定はして

いません。

②内容が明確でなく検討が難しい状況です。

③適正な保険料の算定に努めます。

**本村で起こった  
学級崩壊の対応は**

**問** ①いじめと不登校児童の実態と対応は、

②学級崩壊への対応はどう行つたか。

**答** ①最近では減少傾向で推移しており、アンケート調査やサポーター配置事業で支援しています。

②学級の全保護者対象にした保護者会の開催とともに「親の会」を結成し、「学校へ行こう週間」の継続実施や「保護者通信」の発行で現在は脱却しました。今後は、予防的な取り組みが行われるよう支援してまいります。

**問** 林業の振興のためにも木造の公共施設の建設の考えは、

**答** 本村の学童建設は軽量鉄骨ではありますが、床や下駄箱等に木材を使用しており、木の温もりを体感できます。

また、校舎等の建設では経費等を勘案すると木造は困難ですが、出来るだけ木材の使用を考慮してまいります。

**問** 学童の指導員の給与等を充実することについて、

**答** 指導員の賃金等は、基本的にそれぞれの学童保育クラブが、国からの補助金分と、厳しい財政状況の中、村単独分を上乗せした委託料、諸手当等及び保護者からの保育料を財源として、諸手当を決定してまいります。

### 農畜産物の新たな 販売振興策、対応策は これからも積極的に 農産物のPRをします

しののめ会  
武田 哲議員

**問** 農畜産物の販売のための新たな振興策、対応策は、

**答** 本村では、県内野菜の放射性物質「未検出」の結果を受け、本村で収穫されたスイカ、野菜などを村内はもとより、広く県内にPRしてきました。

村内の米は9月下旬に県の本調査が実施されることになってい

ます。結果を農家をはじめ住民の皆様へ提供しながら、本村の農産物を引き続きさまざまな場面でPRしてまいります。

**問** 放射能測定機器の導入策は、

**答** 農産物の放射能測定については、JAGグループと県が連携し自主検査体系を確立したところですが、

村内でも「JA新しいわて」が放射能測定機器を購入し、出荷される農産物を順次測定しています。

また、産直施設や個人で販売している農家の多くが、JA新しいわての組合員であるため、組合の検査で捕らえることができるので、農家の皆さんは自信を持って販売していただくと思います。

### (仮称) 滝沢中央小学校、 建設の進行状況は 当初計画に大きな遅延が 生じないよう努力

一新会  
工藤 勝則議員

**問** ①新小学校建設の具体的な進行状況は、

②説明会住民の反応は、

③学区の確定は、

④建設が具体化した場合の住民説明会開催は、

⑤安全な通学路確保の為の橋の建設は、

**答** ①東日本大震災発生等により、不透明な状況ですが、鶴飼小学校の状況もあり、早期の教育環境の整備に庁内関係部署と連携し計画を進めます。

②説明会での大勢の意見は早期開校を望んでいます。

③学区の確定は、分離後の鶴飼小、滝沢小と新設校が今後の児童数の推移を踏ま

え、各校の適正な学校規模が安定的に図られることを基本に、進めます。

④建設が具体化した場合は、地域住民の説明会を開催致します。

⑤安全で適切な通学路の観点から関係部署と協議検討を行い、橋に関しては、県と協議をし、検討します。

**問** 月ヶ丘小学校が避難場所に指定され30年以上が経過し、現状に即していないと思う。新しい避難場所の確保が必要と思うが村長の考えは、

**答** 施設の耐震性、避難所までの距離や一



新設校「月ヶ丘小学校」建設現場の様子

定期間の避難生活などを考慮し指定してありますが、今後、検証し見直しを図り、新設予定の小学校についても新たな避難場所として指定する方向です。

**問** 投票所の適正・投票率向上・新たな投票所の開設は、

**答** 選挙人が投票しやすい環境を作ることが重要な役割と考え、投票所を分割・分離することなどを併せて検討を進めます。

### 今回は、岩手看護短期大学の学生から お寄せいただいた感想をご紹介します!!

## 議会に ズバリ一言!

学生Aさん

今回初めて議会の様子を見させて頂きました。現在日本では東日本大震災に関わる様々な問題が存在する中で、今回の議会においても取り上げられ、現在実施している安全対策や取り組みの現状もニュースやテレビ等のメディアから得られない情報として理解できました。議会での取り組みが何よりも住民一人一人が安心して健康的に暮らしていくための重要なものとなることも、実際に傍聴したことで実感することができ、よい学びとなったと考えます。

学生Bさん

今なお、テレビやニュース等で取り上げられている“放射能”に対する安全の確保を具体的に示されたことができて身近に感じることができました。私たちはもちろん、幼い子どもを持つ家族などは実際に計測し数値化することで、安全・安心な生活を送れるという実感がわくため、今後も必要に応じて行っていただきたいと感じました。また、国民健康保険の現状や実情に触れ、様々な対応がされていることが分かりました。村民の暮らしに関わる経済面での支援は大切であると考えます。

学生Cさん

放射能に関しては、保育園、小中学校の職員だけではなく、児童生徒にも知識を普及させて議会でも危険であると議論された事についても児童に注意喚起する必要があると思う。放射能問題だけでなく、滝沢村に移ってきた被災者の方々に対する支援について取り上げていただきたいと思う。滝沢村に移ったから安心という問題ではなく、高血圧、脳血管疾患、認知症、うつ病、自殺など様々な問題があると思うので、定期的に家庭訪問を行うなどの対策について取り組んでもらいたいと考えます。